



時の針

発行
 児玉高校同窓会
 会長 梅沢 仁
 事務局 児玉町八幡山
 410 県立児玉高校内

（あいさつ）

同窓会長 梅沢 仁

新秋快適の候、会員の皆様にはご健勝にて活躍のことと存じ、お慶び申し上げます。
 平素同窓会の運営につきましては、ご理解とご協力をいただき、有難く厚くお礼申し上げます。

お蔭様で昭和六十年の諸事業も、会員の多勢の参加と、役員の方の努力により、全てにその実を挙げる事が出来ました。大変うれしいことです。

さて、昭和六十一年度総会も多勢の参加を得て開かれ、提出致しました議案も満場一致にて承認をいただき、大盛会のうちに終りました。

同窓会員相互の親睦を深め、その活動によって母校の発展を計ることを目的とする会の運営には、役員の方のたゆまぬ努力と研鑽はもとより、なんと云っても会員の積極的な参加が大事であります。

会活動の基本は会員としての自覚であり、そこから生まれる勇氣と信頼と友情です。

これこそが会の活性化に連るものであり、地域に根ざした特徴ある母校児玉高校の発展に連動するものであります。

事業計画の遂行にあたっては、委員会の活動をその中心的役割に

すえ、責任ある企画、立案が成され、一つ一つしっかりと実施に移されております。

会員の親睦の輪は次第に広がりを見せています。そこで地域別・事業所別・卒業年度別の組織の拡充を図り、足腰のしっかりした会にしたいと考えております。

役員一同、会員の皆様方と力を合わせ、親しまれる同窓会作り懸命に努める心算であります。どうぞよろしくお力添えをお願いいたします。

本部役員と理事

会長 梅沢 仁
 副会長 日向千江子、星野ひろ子

大沢 貞夫、川辺 昇
 武田 広研、貫井 公博

立川 源定、井上 英夫
 石井 敏郎

監査役 阪本 光江、塚本 隆明
 新井いと子、吉川 幸男

相談役 林 喜一、高木 清憲

校内理事 新井 初枝、野口多喜子
 関根 フサ、松村 康江

理事 栗本美智枝、田村禎一郎
 西沢 勇、吉川 音絵

根岸 俊一、中村 愛子
 藤森 寛、黒沢 洋子

根岸 寛

進路報告

進路指導部

この間卒業生を送り出したばかりと思いましたが、今年もまた就職や進学を期をむかえました。就職希望者は企業研究や就職試験に、進学希望者は学校見学や入学試験に取り組んでいます。今年はお存じのように、急激な円高不況による求人減や国立大の受験機会の複数化などで三年生にとっては不安がいろいろあります。今日は皆様はこの紙面をお借りして進路の近況をお知らせするとともに先輩の皆様方の一層のご支援をお願いいたします。

本年三月の卒業生は三五三名(男子一五九、女子一九四)でした。進路別状況をみると進学者は二〇二名(男子一〇二、女子一〇〇)で全体に占める割合は五七%でした。就職者は一四二名(男子五四、女子八八)で全体の四〇%を占めます。進学については希望調査の段階では前年より増加して二二九名(男子一九九、女子一二〇)で全体の六七%が進学を希望していました。最終的には二〇二名で、その内訳は大学一五名(男子二名、女子三名)、短大四九名(男子二名、女子四七)、専修学校一〇八名(男子六三、女子四五)、進学予備校三〇名(男子二五、女

子五)となり、大学進学者の減少が目立ち大量の浪人を出す結果となりました。本校の進学の実態は専門学校への進学者が多く、推薦入学の傾向が強い。そのため受験勉強に力を入れる生徒が少ないといえます。大学進学を希望をもちながら学力不足で志望校をレベルダウンしたり、専門学校に変更したりする生徒が多い。共通一次試験の実施以来、国立大離れが年々すすみ受験生が私大に流れていいます。特に中堅私大は激戦をきわめ、最近では中堅以下の私大も厳しさを増しています。また、安全志向で相当ランクを下げ受験する傾向がみられ地方の大学も上昇しています。このために本校の受験生はその直撃をうけて首都圏大学への進学が非常に困難になっています。この現状を打破するには、しっかりとした目標を定めて強い意志で受験に取り組むほかに方法はないと考えます。

就職については前年より厳しい状況にありましたが、十月末の内定率が七九%で二月末までには全員の就職が決定しました。このうち地元企業への就職が九割を超え、ほとんどの者が自宅から通勤しています。これは近年、児玉工業団地をはじめ地元有力企業が進出してきたためです。それだけに今後地元企業で活躍できる人材を多数送り出すことが課題であると考えます。

昭和60年度進路状況

	60年卒		59年卒		58年以前	
	男	女	男	女	男	女
就職実数	54	88				
大学進学実数	12	3	5	2	3	
短大進学実数	2	47		1		
その他進学実数	88	50	4		2	

講演会開かれる



去る五月三十日(金)の午後母校の大講堂に於て在校生を対象に同窓会(育英委員会)主催、児玉

高等学校の暖い後援により講師に矢部幸久氏(高校第四回卒業、昭和二十七年三月、勤務先、本田技研工業監査役)をお招きして教育講演会を開催し成果をおさめることが出来ました。

講師の矢部氏にはお忙しい日程を母校後輩のためにつくって頂き感謝しています。

当日は、講演に先立って講師の同期生数人と関係者で昼食を共にし、それは有志のクラス会とも思える程和やかな雰囲気でした。進みととも有意義な一時でした。さて、講演会場には授業の一環として取入れていただいたので生徒が整然と並び開会を待つばかり、緊張の一瞬です。

演題は「本田技研と私の人生」、内容は講師自身の長い人生体験の豊富の中から巧みな話術により、生徒の気持ちを引き寄せ魅了させました。

人間はどこに存在しようとして自分自身を忍耐強くそして勇氣と誇りを持って生きてゆくことが大切なのだという非常に良い教訓を与えてくれました。

人は多くの人の話を聞くことによりその中に何か感銘する言葉があるものです。

これを機会に母校の同窓生が実社会に巣立って立派に活躍されることを期待すると同時に今後開催する場合は学校当局と十分連携を保ちながら進めたいと思えます。

会報によせて

第一号の発行に際し、旧職員の方より鄭重なるお手紙をいただきました。

岡 悌二先生

拝復 「同窓会報」をお送り下さりましてありがとうございます。さっそく、お礼の手紙を書きました。私が、私は満八十二歳を越え、老境に入りましたので、字が書けるかどうか、わかりません。ご判読下さい。

先ず、写真が目に入りました。校舎の写真、梅沢会長さんの写真、杉田校長先生の写真、旧校舎の写真、その他の写真です。非常になつかしく、目がうるみました。次に、梅沢会長さんがお書きになった、「旧職員様へ」というお手紙です。その中に「同窓会活動は母校あってのものであり、母校への応援を最大の目標に努力しております」とあるのを読んで、大いに感銘いたしました。私が児玉女学校長を拝命したのは、昭和十九年でした。戦争中でしたので、科目の授業はなく、全校で軍服を縫っておりました。朝七時から、夕方の五時まで、生徒たちは、一生懸命縫ってくれました。

た。七本木に飛行場がありましたので、米軍のB29が爆撃にやってきました。校庭に全生徒（と申しましたが、当時は女生徒だけ）が入れる広さの、防空壕をほりました。考えて見れば、学校ではなく、工場でした。

戦争に敗けたのがわかったのは、昭和二十年の夏でした。その時は、全生徒も私も気が抜けたようでした。数日ぼんやりしておりました。

戦後、学制の大改革があり、高校となり、男女共学となりました。梅沢会長さんなどは、この時、本庄高校から転校したのだと思います。

戦争に敗け、教育はアメリカ式となりました。私は県での全教員代表して、東京で三カ月間アメリカ教育の仕方を、アメリカ人から教わりました。その講習が終って、私は県教育委員会の指導課長に兼任されました。本務は児玉高等学校長でした。

私は昭和二十六年に、県教育委員会を出て、川越女子高等学校長になりました。次いで、昭和三十一年に大宮高等学校長になりました。大宮高在任中は、野球部が毎年のように、甲子園に出場しました。

昭和三十九年に私は、定年で大宮高校をやめました。児玉・県・川越・大宮と、転々と学校を変えましたが、お世辞でなく、児玉の

生活が一番よかったと思います。定年退職後、私は県の仕事として、「埼玉県教育史」編さん主任を六年間、日本製缶株式会社常勤監査役を六年間、浦和簿記専門学校非常勤講師（週一回講義）を六年間やりました。

私の人生をふり返ってみますと、お世辞でなく、ほんとうに児玉の生活が一番よかったです。五、六年前、車で、児玉高を見にゆき、中島先生にお目にかかりました。中島さんは、私が児玉にいた頃からの知り合いです。その頃、先生はまだ子供でした。

児玉は人情の厚いよいところですよ。私が定年退職後、教育史編纂主任をしていた時、県立浦和図書館の人々が、児玉にバスで行った時、二葉がよいから、そこでお昼食をたべなさい。僕からだと言って、まけて貰いなさい、と言ってやったら、一行が帰ってからの私への報告に、「まけてくれました」と喜んでおりました。

さて、私の、児玉から今日までの生活を書きましたが、「会報」の標題と写真のみただけで、まだ中味は読んでおられません。これから、中味を読みます。新井と子先生などの記事を読むことも楽しみにです。さきに書きましたように、私はすでに八十二歳です。しかし、自分では、頭はぼけていないつもりです。今後、何か印刷物を作りましたら、お手数ながら、お送り

建物総合管理

平岡企業株式会社

代表取締役 平岡久八
(高校4回)

東京都中央区日本橋茅場町
1丁目10番4号
電話 03(669)2205番

(株)日本放電研究所

久保純男 (高校3回)

〒370-12
高崎市倉賀野町3373-10
電話 (0273) 47-1648

下さい。費用の分は必ずお送り申しあげますから。 敬具

掘越貞友 先生

前略、中秋の好季節となりまして、久しくご無沙汰をいたし申訳もございません。ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

さて、過日は児玉高校同窓会報をご送付下さいましてありがとうございます。第一面に梅沢仁会長さんの立派なお写真が載っていたのでとても嬉しくなりました。いつもながら若く、精力的な感じがいたします。また、役員の中に、日向さん、星野さんその他私のお世話になった知名の方々が載っていてなつかしくなりました。いつか皆様とお逢いできる機会が得られると思います。乱筆にてお礼です。私も声は悪いですが元氣です。 敬具

松原 勝 先生

同窓会報ありがとうございます。会長さんを中心に多くの方々の御協力によって立派な会報ができてきました。御喜び申上ります。いつの間にかやら私も八十二才になりました。

昭和十二年から全十三年迄一ヶ年貴校に御厄介になりました。一ヶ年ではありましたが若かった

ので思い切り教育のため努力いたしました。当時の先生は茂木光男先生だけでしょいか、一ヶ年の記憶は数多く残っております。当時の偉かった学校長、教頭の先生方御長逝、家庭科の先生で学校の至宝とされていた方も亡くなられ私の親友数学の先生も交通事故で亡くなられ、今は卒業生の方々から当時のお話をお伺いするよりないと思えます。然し、私の教え子町田勝持先生は浦高二回の卒業生として三月拙著「秋吉台のフズリナ化石―一億年の進化を探る―」出版の祝賀会の時に九十五名の卒業生の一人として出席して下さいました。

拙著は六十才の時から、初めてフズリナ化石の勉強を手がけ、二十年の歳月をかけてやっとこの三月出来上りました。幸い学会でも好評、この十一月十五日、国立教育会館で日本教育研究連合会より表彰を受けることになっております。

右、会報の御礼に併せて近況まで。

斉藤 悌次 先生

秋涼の候となりました。その後もご元氣の様子でなりよりです。

昨日は同窓会報をお送りいただきました。大変立派な企画と思えますが仕事は大変でしょう。まだ緒についたばかりでこれからだと

思いますが研究してみて下さい。県下多数の学校の中でクラス会便りを出しているところはあるようですが、同窓会報というは少ないでしょう。松高同窓会報を参考までにお送りいたしますが松中ができたのは大正十二年、同窓会報ができたのは昨年からでこれは二回目のもので、松高にはこれまで一五会という一回／五回の集りがありました。これは山田君の「こ

だまの会」みたいなもので東京近辺の者の集りでしたが、集る者も少数むしろ児玉高同窓会東京支部として、東京近辺に就職する若い人達の心よりどころになれば発展するのではないかと愚考いたしました。松高の一五会も東京支部と違って私共古い方は殆ど参加してないようです。ここでも一枚のニュースを年一回送ってきますが、私なども最近は何も出しておりません。それにくらべて松高の会報はだんだん充実してくるようです。年会費一〇〇〇円、振替用紙が入ってきますので都度送っています。松高の場合、会費の納入が何割ぐらいあるのか知りませんが山岸教頭に聞けばすぐわかることとです。存じあげませんが事務の石井さんが中心で編集にもあたってくださいるようですが、たいへんな仕事でしょう。

役員の中に田村清さん、根岸弘子さんなどいないようですが、女性、定時制の中にも有能の方がお

られるようですね。中山君、桜沢君、柴崎先生など定時制に籍をおいた人達の中でも原稿のもらえる人はたくさんいるでしょう。勿論原稿料など出す必要はないと思いますが掲載させてもらえば満足でしょう。

今日はたまたま読売に藤田得三さんのことが出ていました。彼も立派な僧侶になってそれなりの宗教観をお持ちでしょう。医者になった連中など原稿には不自由ないでしょう。しかしなが書かれと印刷にも困ると思えますので字数を限定すること、私共退職校長会では、はがきで字数を限定しています。短かく書くのに苦勞しますが簡単ですから80%ぐらいの人が返事を出すようです。乗り出した船、そして学校は永遠ですから会長が誰かに代っても簡単にやめることも出来ないでしょう。お骨折りは十分わかりませんがやってみて下さい。元氣です。お世話になった坐骨神経痛もお蔭で回復、この頃は智光湯にご無沙汰しています。

西村 辰子 先生

(旧姓松井)

秋冷の候となりました。

先日御鄭重に児玉高校の同窓会報私まで御直送たまわりありがとうございました。うれしく、なつかしく存じました。何れ折をみては

非投稿させて頂き度く楽しみにしています。
昭和十二年学校卒業しての初めての任地、ほんとうに頭にしみついていきます。
理事の「関根フサさん」何か記憶にあるお名前です。どうぞ貴会の一層御努力下さいませ。

総会に出席して

星野ひろ子

校長先生、教頭先生の御参加をいただき、又百三十八名という会員の皆様の御協力を得まして、会長さんを中心に六十一年度総会を車内で無事にすませましたから、会員親睦の為東京名所巡り組と観劇組に別れ、百十五名の観劇組は帝劇の森繁さんの屋根の上のヴァイオリン弾きの最後の公演を期待に胸を踊らせて入場致しました。私のクラスの方で三回目の方もいらっしやいました。いかに心に残ったいいお芝居であったか、深い感動をうけたからだと思います。幕があき、森繁さんの出場に、わっという歓声と拍手が鳴りひびきました。七十才を越えたというのに身のこなしの軽妙さ、すきの無い踊り、ぴんと張った背すじ、役になりきった姿に芸のきびしさと、努力にただただ心をうたれました。あの年令で、あれだけの事を四時

間近く殆ど出たままで、舞台全員の出演者への気くばりと心の温かさ、真剣さ、手抜きのない本当のお芝居を久々に、うれしく拝見させていただきました。森繁さんの人柄のよさと思ひやりに全員の協力ときびしい訓練と和がこのお芝居の長つづきのもとである事がよくわかりました。娘を思う親心、貧しさや戦いながら、古郷を追われ、愛する隣人との別れ、人の世の悲しさ切なさや痛程観客の胸にしみた事でしょう。終りに私の好きな坂村真民先生の詩を送ります。「悲しみはいつも」
悲しみは私等を強くする根
悲しみは私等を支える根
悲しみは私等を美しくする花
悲しみはいつも枯らしてはならない。悲しみはいつもかみしめていなければならぬ。



「部活紹介」

柔道部

関東大会十回出場

表彰される

柔道部顧問

高柳和夫
長嶋光男

同窓会報第二号の発行にあたり、今回よりクラブ紹介を掲載されるので、その第一回に柔道部が指名された栄誉を部員一同心から喜んでおります。日頃の活動状況や抱負を記し、その責を果したいと思っております。

さて、本校創設以来の伝統あるクラブですが、例年三十名の部員が所属し、活動しています。過去に団体戦では、県大会優勝五回、関東大会三位、全国大会出場があり、個人戦では、国体を含む全国大会には頻りに出場し、全国大会準優勝等があります。とりわけ、今春の関東大会で、十回目の出場を記録し、大会本部より表彰されました。県内はもとより、関東一円で伝統校と呼ばれる様になりました。これもひとえに、同窓生の皆様の御理解と御声援の賜の賜の賜です。加えて、柔道部OB会の充実と物心両面に渡る多大な援助、部員の家族の愛情と熱意、さらには校内の運動部顧問会の暖かい支援によるものと思っております。

総合建設業

水沢工業株式会社

代表取締役 水沢 政 雄
一級建築士
専務取締役 水沢 美都恵 (高女12回)
一級建築士 水沢 裕 (高校20回)

〒367-02 児玉町大字児玉2384
TEL 0495(72)1611(代)

関根歯科医院

上里町大字神保原町521-10

TEL 0495-33-3009

生徒会体の一般的な傾向として、物質に恵まれた生活の中で受験勉強に明け暮れた子供達は、基本的な生活習慣が充分に体得されないうちから、一点に集中すること、それを継続させることを極めて不得手とします。自分の限界に挑戦すること、それに耐えることから逃れ、スマートな生活を追求しがちです。負けることへの悔しささえ忘れたり、反発するすべも知らない様にも思われます。目的を見いだせず高校生活を終る生徒も少なからずあります。

県下百五十校の柔道部の中で、勝ち抜くことは、容易でありません。近年、「児玉高校では非柔道をやりたい」という生徒が入学して来ます。頼もしく思いますし、毎日の訓練に力が入ります。入部する部員のうち、有段者は半数にも満たない現状ですが、近隣の中学校の柔道部が充実してまいりましたので、今後が期待されます。活動費の増額の声もあり、各部とも苦しい運営状況ですが、互いに刺激しあいながらその活動が活発化しつつあることは、柔道部にあって大きな励みとなります。県内外の多くの学校との練習試合にも恵まれ、訓練する環境が整いつつあります。

から、厳しい訓練を通じ、かつ、勝つことを体験するなかで、生活態度や習慣を体得したいと思えます。部員が「まじめクラブ」と自称するように、勉学とも両立をはかりたいと思います。何事にも挑戦する姿勢と地道な努力を継続する気魄を尊重しますし、その過程を評価したいと思えます。自己を信頼できる青年の育成を目標とします。

最後に、同窓会の皆様に従来と相変りませず、暖かい御指導と御鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

（転・退職）
 教頭 田村一成（定） 桶川高校
 教諭 金鑽和夫（定） 退職
 関口増夫 本庄北高校
 高杉雅章 大宮南高校
 中野均（定） 退職
 講師 川鍋祐子
 非常勤講師 安部友恵
 事務長 柴崎文夫 本庄高校
 主任 蛭川光枝 川本高校
 事務助手 久保良子 退職
 （転入・新任）
 教頭（定） 持田敬夫
 教諭（全） 持田道夫、根岸道夫、と
 （定） 千島秀夫、朝比奈幹

昭和61年度 教職員人事異動

（敬称略）

催しもの お知らせ

◎ 親睦旅行

とき 昭和61年11月16日（日）
 17日（月）

集合・出発場所

1. 児玉高校7時
2. 本庄駅南口7時30分
3. 東京目白駅そば川村学園前9時30分

ところ 浜名湖館山寺温泉
 山水館欣龍 0534
 8770611

かいひ 25,000円（宿泊・昼食・バス・見学科等）

のりもの 大型観光バス

見学場所 日本平・久能山・竜華寺・丸子丁字屋・横浜中華街

※お申込み切 61年10月20日

◎ 新年会

とき 昭和62年1月24日（土）
 午後3時より

ところ 本庄市埼玉グラウンドホテ
 ル 04951211
 2111
 かいひ 4,000円
 ※お申込み切 62年1月14日

◎ 総会（昭和62年度）

とき 昭和62年4月19日（日）

集合・出発場所

1. 児玉高校8時20分
 2. 本庄駅南口8時40分
- 東京千代田区、帝國劇場地下1階（帝劇、浜田屋）
 031216124

ところ 5,000円（バス・昼食懇親会費）

かいひ 5,000円（バス・昼食懇親会費）

コース 1. 帝國劇場公演観劇、「風」とともに去りぬ」

2. 松平健、大地真央主演入場料S席9,000円
 都内バス遊覧、横山山大観記念館、乃木希典邸、古賀政男記念館等を見学

※お申込み切 62年3月20日
 なお、観劇のメ切は予約のため、61年10月20日の午後1時～4時まで

（催しもの申込先）

一、石井（事務局）児玉高校内
 049517211591

二、星野親睦委員長
 049512414847

どちらかにメ切日を確認の上
 お申込下さい。

「児玉高校に留学して」

ローリー・メイソ

私は昨年手紙を受け取りました。その手紙をもらってからは、もう一年間たってしまったとは思えません。私は手紙を受けとった日をよそく覚えていました。中村先生ってだれだろう？二年三組はどんなクラスだろう？私は日本に早く行きたいと思いました。だれも知らなくても、どんな顔をしているのかわからなくても、私は、児玉高校が私を歓迎してくれるのだと感じました。

あつという間に日本へ来てしまいい、最初の日に千人の生徒の前に立たされたことは、一生忘れられない思い出です。ましがって、「はじめまして」を「はじめました」と言っていて、みんなにわらわれたこともありました。日本へ来る前に日本語の勉強をしていなかったのでも、私は、日本語がぜんぜんしゃべれませんでした。それでも私のクラスメイトたちは辞書を使っていっしょうけんめい私と話をうとうとしてくれました。最初の何か月間かの間に、いろいろな良かったことがありました。体育祭で千メートル走ったり、文化祭でカナダ館の大使になったり、修学旅行へ行ったり、みんなとてもいい思い出です。

三年生になってからも、二年生の時と同じように、よい思い出を作るのができました。新しいクラスの人達と遠足に行ったり、新しいお友達に出会ったり、バレエ部に出て練習したり、英語のじゅぎょうの時にいろいろなクラスに行っていて、カナダの生活のことを話すなどして先生の手伝いをしたり、楽しくすごしました。最後のすうか月はとても忙しかつたけれども、けっきょく良かったです。忙しければ忙しいほど、たくさんのお話をまなぶことができました。

一年がすぎてみると、今までにまなびたいいろいろな新しいことが、みながかんできます。私は、新しい文化、新しいことば、そして、たくさんの人びとを知ることができました。また、人と人のかんけいについても、りかいがふかまり、私じしんについても、いっそうよく知ることができました。児玉高校のみなさん、たくさんのお話を教えてくれてありがとうございます。どの人もとても親切で、ことばでおおいの言いようもありません。いつの日か、みなさんもカナダにきて、みなさんが私に教えてくれたように、私たちが私に教えてくれたように、私たちが私に教えてくれたことを学んでくれることをのぞいてます。

そんでいきます。みなさんのしょうらいがすばらしいものでありますように。どうもありがとうございます。



昭和60年度事業報告

- 4月19日 総会、於東京帝国劇場地下浜田屋(112名バス2台)帝劇の花舞も鑑賞する。(94名)
- 10月1日 同窓会報の発行及び援助金の募集
- 11月17日 親睦旅行、於伊豆修善寺温泉(37名)
- 11月18日 新年会、於本庄埼玉グランドホテル(96名)
- 2月1日 ランドホテル(96名)
- 3月7日 入会式(会長ほか役員及8日出席)

<p style="text-align: center;">小林生花店 本庄市前原支店 十一月オープン</p> <p style="text-align: center;">皆様の御支援を、お願い申し上げます。</p> <h2 style="text-align: center;">児玉 小林生花店</h2> <p style="text-align: center;">小林 俊雄 (高4回)</p>	<p style="text-align: center;">児玉町駅前通り</p> <h2 style="text-align: center;">福島書店</h2> <p style="text-align: center;">福島 栄一 (高4回)</p> <p style="text-align: center;">TEL 0495-72-1298</p>
---	---

クラス会 便り



◎高校第6回卒業生、61年5月24日～25日 於水上温泉50名出席

◎高校第14回卒業生、61年4月6日 於児玉町福助、115名出席

◎高校第36回卒業生、61年8月16日 於本庄市埼玉グランドホテル、140名出席

◎高校第3回卒業生有志の集い、61年9月27日～28日 於伊香保温泉、40名出席

会報名称決定

会報名称「時の針」に決まる。第一号紙上で同窓会員の皆さんに会報の名称をお願いしましたが早速、多数の方から御応募いただきました。会としては広報委員会、会報として名実共にふさわしいものをもと、慎重に検討し、その後、理事会にて検討の結果、最終的に「時の針」と決まりました。

【児玉高校校歌】

一、青空に高くそびゆる
白壁の森我が母校
時の針めぐりて歌ふ
友がらの未来を語る

二、かれ果てた河原たどりて
探究の目いそげば
鉄の脚地に憧がるれば
河底の生命にふれん



最初の男女共学(昭和23年)

御承知のように、児玉高校校歌一番の一部分です。時(歴史)を刻む、時々の流れの指針と云うような意味が含まれています。この名称を会報と共に育ててゆきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。なお、応募された方のお名前は、本人の希望により匿名とさせていただきます。

編集後記

月日の過ぎるのは早いもので、第一号を発行し、一息入れている間に一年がすぎ、第二号を発行することになりました。なつかしい母校の「香」をお届けできれば幸いです。

前号でお願いしました会報の名称は、「時の針」と決まりました。多数の御応募ありがとうございました。題字は児玉高校で書道を担当されています堂山賀龍先生に書いていただきました。会報は、会員皆様のものです。伝言板として、クラス会等の連絡用としてお気軽に御利用下さい。発行部数も五、〇〇〇部となり皆様の御期待に添えますよう努力致します。御意見、御要望、作品等なんでも結構です。どしどしお寄せ下さい。尚、「クラス会便り」を募集しています。同窓会等開きましたら事務局までご連絡下さい。会員の皆様より一層の御協力をお願い申し上げます。(川辺)

応募された名称を左にあげますが、御協力いただきました方々には紙面をかり心からお礼申し上げます。ありがとうございます。
○こだま、(笹)こだま
○雉が丘、雉岡、雉峰、雉陵
○青空に、時の針

誠実 技術 信用をモットーとする
総合建設業

株式会社 堀越組

堀越 富子
(女10回、昭和15年卒)
埼玉県本庄市東台2-3-12
TEL (0495) 21-0151(代)

婦人高級ニットの専門の店

(合)井筒屋

本庄市銀座2-2-8
TEL 0495(22)2236